

◀1997年 東京工業大学(前期)▶

1 $a^2x^2 + b^2y^2 \leq 1$ をみたす (x, y) がすべて $a(x-1) + b(y-1) \leq 0$ をみたすような (a, b) の範囲を求め、図示せよ。

2

(1) 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=n}^{2n} \frac{1}{k}$ を求めよ。

(2) 任意の正数 a に対して $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=n}^{2n} \frac{1}{a+k}$ は(1)と同じ極限值をもつことを証明せよ。

3

(1) $\frac{1}{x} + \frac{1}{y} = \frac{1}{2}$ をみたす自然数 x, y の組 (x, y) をすべて求めよ。

(2) n を自然数, r を正の有理数とする。このとき $\sum_{k=1}^n \frac{1}{x_k} = r$ をみたす自然数 x_k の組 (x_1, \dots, x_n) の個数は有限であることを示せ。

4

(1) 底辺の長さが l , 2つの底角が α, β の三角形の面積 S は、次式で与えられることを示せ。

$$S = \frac{l^2}{4} \cdot \frac{\cos(\alpha - \beta) - \cos(\alpha + \beta)}{\sin(\alpha + \beta)}$$

(2) 各辺の長さが $1, 2, \sqrt{3}$ の三角形の各辺に1点ずつ頂点をもつ正三角形の面積の最小値を求めよ。

出題範囲と難易度

- 1** 標準 II 三角関数
2 標準 III 積分法の応用
3 標準 A 整数問題・数列
4 標準 II 三角関数

略解

1

$$\begin{cases} a \neq 0, b \neq 0 \text{ のとき, } b \geq -a + \sqrt{2} \\ a = 0, b \neq 0 \text{ のとき, } b \geq 1 \\ a \neq 0, b = 0 \text{ のとき, } a \geq 1 \\ a = 0, b = 0 \text{ のとき, 常に成り立つ} \end{cases}$$

右図斜線部分および太実線・黒丸が求める領域で、
境界線上の点を含む。

2 (1) $\log 2$

(2) 証明は省略

3 (1) $(x, y) = (6, 3), (4, 4), (3, 6)$

(2) 証明は省略

4 (1) 証明は省略

(2) $\frac{3\sqrt{3}}{28}$

